

9月に入り、涼しいときを見計らって散歩に出かけるようになりました。



毎年全事業所が集まって盛大に行う敬老祝賀会ですが、今年は「3密」を避けるために各事業所で祝うことになりました。メニューは次のとおり。

- ・栗入り赤飯（9月は誕生会が2回あり、お寿司が続いたので）
- ・刺身
- ・うなぎの柳川
- ・お吸い物
- ・果物（梨、ブドウ、リンゴ）

普段より少しおめかしをした装いの皆さん。95歳の最高齢、Kさんに音頭を取ってもらい、みんなでジュースで乾杯。食事をしながら近所の保育園から届いたDVDを鑑賞しました。

本当は、お餅つきに招待したお礼に、園児がハンドベル演奏に来てくれることになっていたのですが、コロナのせいで中止になりその代わりに演奏のDVDが届いたのです。

「おじいちゃん、おばあちゃん、どうか元気で長生きしてください！」

という純真な子どもの声を聴いて涙ぐむ方も…。可愛いポストカードもプレゼントされました。

食後、職員の大野さんがフラダンスの仲間を連れて来訪。本格的なフラを披露してくださいました。

華麗な衣装をまとった女性たち、皆さんため息がもれます。振付を教えてもらって一緒に踊る場面もあり、楽器を使った演奏もあり、あっという間の30分でした。

いつもは食事がすむとすぐ帰ってしまう人も、「今日は時間を忘れて楽しんだ」とゆっくり感想をお話して帰りました。

「どのようにしたら喜んでもらえるのか」を考え、ボランティアさんなどの社会資源を活用すること。創意工夫と、協力者を募ることが成功の鍵です。人手が足りない、だから行事ができないと口にする人がいますが、それは理由にならないと思います。そうであれば、余分な人手がなければ何もできなくなります。吾も紅は一人ひとりのレベルを高め、少数精鋭のチームを目指しています。人数に頼ると、どうしても手を抜いてしまうからです。（人員基準は満たしています）

そのためには、日頃から地域や家族との信頼関係を築いておくことです。そうすることで、必要な時に手を貸してもらいやすくなります。私達の仕事は、目の前の利用者さんを通じて社会とつながることだろうな、と感じています。